

ご近所支え合い活動助成金 申込受付中!!



長寿社会振興財団の「いわて保険福祉基金」の特別枠として「ご近所支え合い活動助成金」が誕生しました。

<地域のコミュニティづくりを基本とした活動を支援する「高齢者社会参加推進事業」>

<高齢者の生活を支援するサービスを行なうための「ご近所安心・楽々ネット推進事業」>

この2種類の事業に対して助成を行ない、お互いが支え合う地域コミュニティの実現を目指します。



助成対象団体：助成対象事業を確実に遂行できる見込みがある団体又は法人
(地域の活動団体、地域包括支援センター、各社会福祉協議会、NPO、老人クラブ等)

高齢者社会参加推進事業

○高齢者等の社会参加推進活動を支援します!

- ・助成対象：地域の活動団体が行なう支え合い活動等
- ・助成金：5～30万円(初年度最大30万円、次年度以降15万円)
- ・助成期間：最大5年
- ・応募期間：通年(助成総額500万円)

主な活動の例…

- ・歩道にお花を植え、利用する人々を喜ばせたい!
- ・福祉施設に出向いて、絵本等の読み聞かせをしたい!
- ・地域の希少な動植物を、地域ぐるみで守りたい!
- ・地域の伝統文化や技術を、後世に継承したい!



ご近所安心・楽々ネット事業

○地域の高齢者支援かと動の育成を支援します!

- ・助成対象：インフォーマルサービスの提供
マッチング事業の支援等
- ・助成金：最大100万円(初年度最大100万円、次年度以降60万円)
- ・助成期間：最大3年
- ・応募期間：通年(助成総額500万円)

主な活動の例…

- ・高齢者や障害者への病院移送や配食サービス
- ・電球交換、布団干しなどのインフォーマルサービス
- ・孤立死などを防止する為の見守り活動
- ・救急隊との協働で救急蘇生法の普及を図る活動



ちょっとしたつぶやき…

今年より年4回発行することになりました「かだる」。皆さんの生活や活動を応援すべく、少しでもたくさんの情報を載せていきたいと思います。

ご意見ご感想がありましたら、ドンドンお申し付け下さい。



発行／岩手県保健福祉部長寿社会課
〒020-8570 盛岡市内丸 10-1
Tel:019-629-5432 Fax:019-629-5439
企画・編集／岩手県高齢者社会貢献活動サポートセンター
〒020-0045 盛岡市盛岡駅通 1-7-1 アイーナ 6F
Tel:019-606-1774 Fax:019-606-1765

かだる

2008.7
夏号

～シニアの社会参加推進情報誌～



PHOTO:「水沢プレアデスの会」

胆江地区に語り伝えられている昔話や伝説を収集・発掘し、7名の会員が語り部となって、後世に伝える活動を行っています。まるで昔にタイムスリップしたような、和やかな雰囲気でした。

目次

- P2-3 地域デビューしませんか?
～シニアの社会参加状況とチェックリスト～
- P4-5 拝啓、頑張っています
～活動団体紹介コーナー(県央地区)～
I「中津川の水芭蕉を守る会」(盛岡市)
II「拳盛会」(盛岡市)
- P6 お知らせ
「ご近所支え合い活動助成金」のお知らせ



地域デビューしませんか



少子高齢化が進み、県内の高齢化率も増加傾向にあり、またご近所との交流も弱まってきているのが現状です。しかしその一方、社会参加活動されている方、希望されている方が増えているのをご存知ですか？

今までは【高齢者】＝【支えられる人】という考え方が多かったが、これからは【高齢者】＝【支える人】というふう

に、固定概念を変え、貴重なマンパワー、重要な社会資源としての位置づけの確立が必要です。「知識」と「経験」という財産は、人生の先輩であるシニアの方の特有財産で、その財産を多くの方が求めています。

シニアの社会参加の現状

シニアの社会参加の意識の向上もあり、近年のグループ活動（町内会、サークル団体等）は増加傾向にあります。

反面、健康上の理由や家庭の事情などで約半数の方がいらっしゃるのも現状です。また、NPOやボランティア団体への参加状況は低迷しており、理由として「きっかけや機会が少なく」「情報が少ない」などが挙げられており、各団体の情報提供と、個人の情報収集を高めていくことも課題の一つとなっています。

みんなの活動のきっかけは？

シニアの皆さんの活動のきっかけは様々ありますが一番多いのは、「友人、仲間のすすめ」次いで「個人の意思」となり、大きな割合を占めており、逆に各種団体からの呼びかけがきっかけで参加した割合が低下しています。

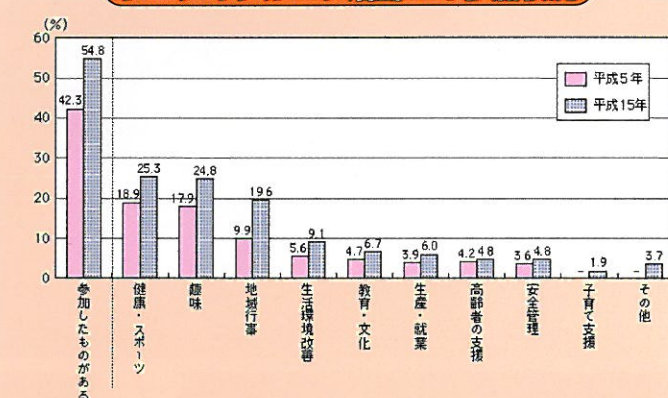
現在、核家族化が進み、独居世帯の増加や近所付き合いの希薄が見られています。日頃のあいさつなど、ちょっとした交流も社会参加の一つであり、社会参加へのきっかけへ繋がっていきます。

情報はどこで手に入るの？

情報は、手に入れるのと入れていないのでは、大きな差が生まれます。情報収集により活動を始めた方によると、「口コミ」「各振興局や社会福祉協議会等への照会」「テレビや新聞などメディアからの入手」「インターネットから入手」「市町村の広報や掲示板の閲覧」が多数でした。

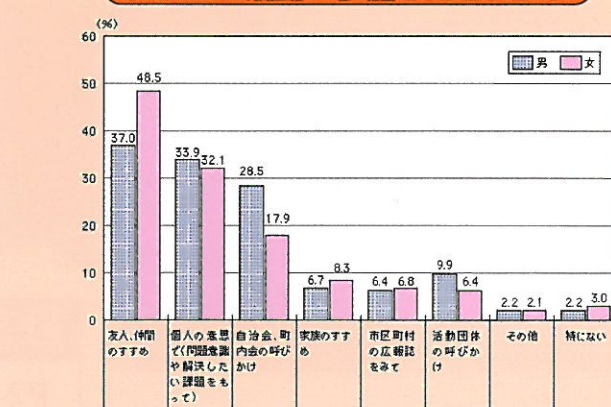
また、各団体も会報やパンフレット、ホームページなどの情報提供がここ数年、増加している傾向にあります。そういった情報を、積極的に収集し活動のきっかけにいきましょう。

シニアのグループ活動への参加状況



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成16年）
（注）全国60歳以上の男女を対象とした調査結果

グループ活動へ参加したきっかけ



資料：内閣府「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」（平成16年）
（注）全国60歳以上の男女を対象とした調査結果



次のページでは、皆さんの社会参加の状況のチェックリストがありますので、気軽にチェックしてみてください。

社会参加活動に関するチェックリスト

社会とのつながり

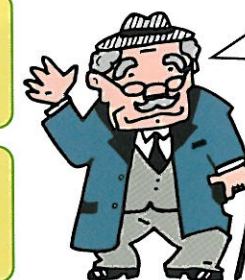
チェック欄	チェック欄
1・趣味を持っている	6・子供や若者と接する機会がある
2・訪ねてくる人や尋ねていく相手がいる	7・旅行を一緒にする仲間がいる
3・新聞やテレビなどのニュースを見ている	8・家族と一緒に食事をするようにしている
4・散歩や買い物と一緒に出かける相手がいる	9・家族や知人に手紙や電話をしている
5・近所の人達と親しくつきあいをしている	10・困った時に相談する相手がいる

○5個以上当てはまる方…

積極的に社会とのかかわりをもって、生活されていると思われます。この調子で頑張ってください！！

○4個以下の方…

自分から社会とのかかわりを持つことが重要です。些細な事でも、出来ることから始めてみましょう



<一言アドバイス>

「社会参加」と言っても難しく考えず、簡単に自分で出来ることを継続してみましよう！例えば、家族や近所の人と声を掛け合う、友人を訪ねたり、自宅に招く、町内会の行事に顔を出す…といったことから始めてみてはいかがでしょうか？

日常生活における積極性

チェック欄	チェック欄
1・健康に気をつけている	6・ボランティア活動や奉仕活動に関心がある
2・今の家庭生活に満足している	7・元気なうちは働きたいと思っている
3・日々の暮らしに変化を持たせている	8・仲間と一緒に活動したいと思っている
4・地域の生活環境に関心がある	9・パソコンやインターネットに関心がある
5・地域の行事・催しに関心がある	10・新しい知識・技術を身につける為の学習を心がけている

○5個以上当てはまる方…

様々なことに興味があるということは、毎日張りのある生活を送っている証拠です。次は行動に移してみましょう！！

○4個以下の方…

毎日を「何となく」過ごしていませんか？ちょっとしたことでも関心を持ってみると、自分自身の視野が広がりますよ。



<一言アドバイス>

張りのある生活をしている方は、一概に好奇心が旺盛です。いろんな事に興味を持ち、それを日々の生活に組み込んでいけば、新しい目標が生まれ、「何となく」日々を過ごすことが無くなりますよ。

社会参加に関する情報

チェック欄	チェック欄
1・情報は家族から手に入れている	6・新聞、雑誌などで情報を得ている
2・情報は仲間から手に入れている	7・テレビ、ラジオで情報を得ている
3・市町村からのお知らせを近くの掲示板で見ている	8・ケーブルテレビや有線放送で情報を得ている
4・市町村の広報誌などを見るようにしている	9・インターネットで情報を得ている
5・社会参加活動施設で情報を得ている	10・社会参加活動団体から情報を得ている

○5個以上当てはまる方…

積極的に情報を収集しているといえます。今以上に活動の幅を広げるには、他の市町村や団体の情報も収集してみてもいいです！

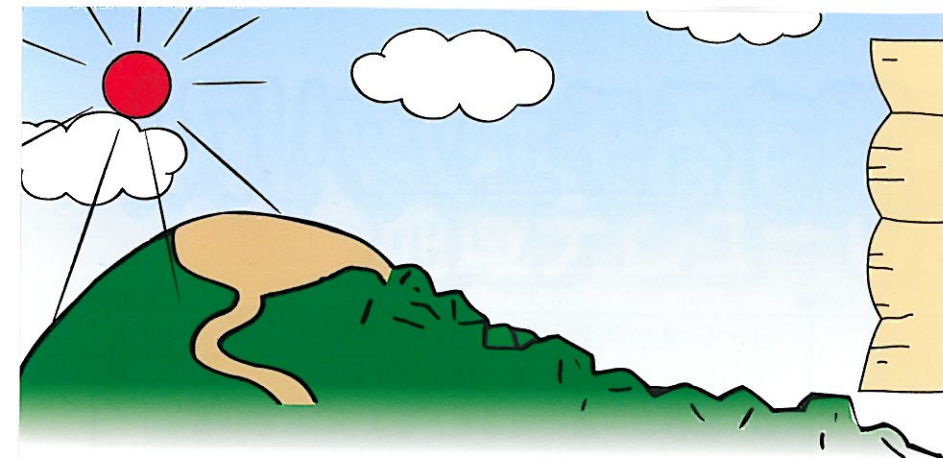
○4個以下の方…

情報は大きな武器です。情報が「ある」と「無い」では、活動の幅が違ってきます。身近でいいので積極的にあつめてみましょう！！



<一言アドバイス>

この時代、情報を制した人が得をします。施設によっては無料でインターネットが出来たり、様々な情報をたくさん保有している所があります。そういう所に、ドンドン問い合わせましょう



拝啓、頑張っています!!

活動報告紹介



中津川の水芭蕉を守る会 (盛岡市)

「いいですか、これからここに水芭蕉を植えます。注意してほしいことは…」

春の新緑が眩しい中津川の河原に「中津川の水芭蕉を守る会」の安原昌佑代表の大きく澄んだ声が響いています。02年、定年退職を機に会を結成して以来、盛岡市上ノ橋を少し上流に上った富士見橋付近の一面に活動の拠点を置き、毎年移植を行っています。会員数も28名に増え、安原代表を中心に精力的に活動を行っています。



水芭蕉の移植について説明する安原代表

中津川の水芭蕉はもともと、市内在住の金田一達男さんが65年に植えたのが始まり。安原代表が年々少なくなる水芭蕉を見て「このまま無くなるのはさびしい」と知り合いに声をかけ、会を結成しました。以前の姿を取り戻そうと、金田一さんも会に加わり、現在に至っています。この日は、会員と下小路中学校の生徒と共に、移植を実施しました。長靴姿でスコップを片手に、会員の先輩方の指導を仰ぎながら、さわやかな汗を流しました。同校との交流は3年目を向かえ、水芭蕉の移植を通し、環境に対する見方や考え方を教えています。



涼やかな風の中、移植をする会員の皆様

シニアの方々の「知識」と「経験」は無形の財産です。今回、取材をさせていただいた「中津川の水芭蕉を守る会」の皆さんは、世代間交流を通じ、「知識」と「経験」の継承と共に、「街を愛する心」の継承も行なっています。

中津川の清らかな流れのような、会員の皆さんの澄んだ「思い」はやがて水芭蕉という名の「形」となり、盛岡の新しい名所となることでしょう。

拳盛会 (盛岡市)

毎週火曜日、午前9時を回った頃、盛岡市のアイーナに一人二人と元気な方達が集まって来ます。部屋の中からは、「シー ツー ショウー (十字手)」、「チー シー (起勢)」、「イエマ フェン ゾン (野馬分髪)」と静かな中にも力のある声が聞こえ、指南である蝦名将甫 (まさほ) 支部長をお手本に総勢15人が列を作り、厳かに太極拳をする「拳盛会」の皆さんの姿があります。



太極拳の指導をする蝦名支部長

太極拳は三百年の以上の歴史があるといわれ、その昔中国の皇帝も身につけていたという「歴史と伝統ある武術」である太極拳ですが、今では無理せず出来る健康法として日本にも定着しております。その太極拳にもいくつかの種類があり、ここで行われている太極拳は、医療体術とも呼ばれる気功法「八段錦」、そして様々な太極拳を24の型に簡略化した「二十四式」を中心に行っています。

「自分の健康は、自分で作り出し、自分で守るもの。」(蝦名支部長) をモットーに、拳盛会では、「エンスリータイチー (いつでも、どこでも、誰にでもできる太極拳)」にも力を入れています。「エンスリータイチー」とは体の不自由な方、車椅子の方、高齢者の方もすぐ出来るような太極拳です。



真剣な面持ちで講習を受ける会員の皆様

月3回、盛岡市内の福祉施設を慰問し、健康の喜びやありがたさを太極拳を通して伝えています。

少子高齢化が進展する中、高齢者は「支えられる人」から「支える人」と固定概念を変える必要があります。蝦名代表の活動はまさに「支える人」の立場にあり、「互いが互いを支える地域福祉」の理念と似ており、今後の活動が期待されます。

今回は…
県北地区を
特集します!!



各団体へのお問合せは…
高齢者社会貢献活動サポートセンターまで
TEL 019-606-1774